

## 事業事前評価表

### 国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第六・大洋州課

#### 1. 基本情報

- (1) 国名：東ティモール民主共和国（以下、「東ティモール」という。）
  - (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ディリ県（人口約 30 万人）
  - (3) 案件名：ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画（The Project for the Improvement of Guido Valadares National Hospital）
- G/A 締結日：2024 年 8 月 20 日

#### 2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け  
東ティモール（以下、「当国」という。）は 2002 年 5 月に独立回復した東南アジアで最も若い国である。当国の保健指標は過去 20 年間で全般的に改善されてきたが、近年では非感染性疾患による死亡が増加している一方で、感染性疾患による死亡も依然として多い（保健指標評価研究所、2009-2019）。また、妊産婦死亡率も 750（出生 10 万対）から 204 に大幅に削減されてきたが（世界銀行、2000-2020）、まだ改善の余地は大きい。2022 年の妊産婦死亡の主な原因としては、異常出血、妊娠高血圧症候群、中絶・流産、敗血症含む感染症が挙げられ（世界保健機関）、その多くは健診や出産の際に適切な処置が行われていれば防げるものである。しかし、施設分娩率は 57%、帝王切開率は 4%と低く（当国保健省）、救命手術としての帝王切開の普及が遅れている。

当国における公的保健医療施設は、第一次レベル（コミュニティヘルスセンター等）、第二次レベル（県病院等）、第三次レベル（国立病院）に分類されるが、第二次レベルの医療施設が提供するサービスとして規定されている内容が限定的であることから、多くの患者が当国で唯一の第三次医療施設であるギド・ヴァラダレス国立病院（以下、「当病院」という。）に集中し、入院や手術を受けるには半年以上を要する。加えて、医療施設や医療機材の不足等により国内で提供可能な医療サービスの水準は低く、がんや心血管疾患など高度な技術を要する患者については近隣諸国の医療施設へ搬送している。また、敷地内の建物の多くは築 20 年以上が経過し、多くの施設・設備が老朽化或いは故障している。

このような状況を踏まえ、当国保健省は当病院改修のためのマスタープランを作成し、全 4 期に分けてほぼ全ての施設の建て替えを予定しており、現在、第 1 期として新小児 ICU 病棟の整備が進められている。当国の「政府開発計画(2011-2030)」においても、保健セクターを含む社会資本が優先課題の一つとして掲げられており、「国家保健セクター戦略計画(2011-2030)」では、2030 年までに全ての国民がアクセス可能な質の高いプライマリ・ヘルスケアと医療の包括的

なサービスを提供することが目標の一つとされている。さらに近年は新型コロナウイルスの感染拡大により、医療体制の脆弱性が改めて浮き彫りとなり、当国政府が掲げる6つの重点分野においても社会資本改善（人材育成・保健が中心）が挙げられている。

「ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画」（以下、「本事業」という。）は、当国で唯一の第三次医療施設である当病院の手術部門・周産期部門等の医療施設及び関連医療機材の整備を行うことにより、当国における医療サービスレベルの向上を図り、保健医療体制の改善を目的とするものであり、当国の政府戦略に合致した優先度の高い事業に位置付けられる。

（2）保健セクターに対する我が国及び JICA の協力量針等と本事業の位置付け  
対東ティモール国別開発協力量針（2017年5月）では「社会サービスの普及・拡充」が重点分野と定められ、対東ティモール民主共和国 JICA 国別分析ペーパー（2023年3月）においては、「成長基盤強化」及び「ガバナンス強化」が重点分野であると分析している。また、JICA 世界保健医療イニシアティブの重点課題である「診断・治療体制の強化」に該当し、JICA グローバル・アジェンダ（課題別事業戦略）「保健医療」では「中核病院診断・治療強化」が柱の一つであり、本事業はこれら分析、方針に合致する。加えて、本事業は当国の保健システム強化の観点から、我が国の「グローバルヘルス戦略」の基本的考え方（各国の保健システム強化・強靱性の確保）に合致するとともに、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」における「インド太平洋流の課題対処」の取組の柱に位置付けられるものである。

### （3）他の援助機関の対応

長期戦略に基づき他ドナーが多く活動しており、医療サービスの底上げを目的に第一次レベル及び第二次レベルへの支援を重視する傾向にあるが、当病院改修のためのマスタープランに関連する支援も計画されている。例えば、UNICEF による初期マスタープラン策定支援などがあるが、本事業との重複はない。

## 3. 事業概要

### （1）事業概要

#### ① 事業の目的

本事業は、当国唯一の第三次医療施設であるギド・ヴァラダレス国立病院において、手術部門・周産期部門等の医療施設と関連医療機材の整備を行うことにより、医療サービスレベルの向上を図り、もって当国の保健医療体制の改善に寄与するもの。

#### ② 事業内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】外来部門、手術室、中央材料滅菌・供給部門、分娩部門、産婦人科病棟の新設（総延床面積約 4,200 m<sup>2</sup>）

【機材】上記各部門にかかる機材：無影灯、手術台、麻酔器、電気メス、患者モニター、保育器、高圧蒸気滅菌器、分娩台、婦人科用検診台、インフアントウォーマー、超音波診断装置、分娩監視装置等

イ) コンサルティング・サービスの内容

詳細設計、入札補助、施工・調達管理

③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）

病院利用者（外来者数：年間約 8～11 万人）、医療従事者（約 830 名）

(2) 総事業費

総事業費 3,144 百万円（概算協力額（日本側）：3,093 百万円、東ティモール側：51 百万円）、B 国債（4 年）

(3) 事業実施スケジュール（協力期間）

2024 年 9 月～2028 年 4 月を予定（計 44 か月）。供用開始時（2027 年 4 月）をもって事業完成とする。なお、本スケジュールは免税手続きにおける国会承認が不要な場合のものである。

(4) 事業実施体制

1) 事業実施機関：東ティモール保健省（Ministry of Health）及びギド・ヴァラダレス国立病院（Guido Valadares National Hospital）

2) 運営・維持管理機関：ギド・ヴァラダレス国立病院（Guido Valadares National Hospital）

(5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動

当病院の施設・機材の適切な使用および維持管理強化のため、医療機材管理関連の課題別研修の活用や病院管理のための経験豊富な海外協力隊派遣を検討する。

2) 他援助機関等の援助活動

KOICA がディリ県に第二次医療施設として産科病院の新設を計画しているため、当病院に集中する患者の分散が期待されるとともに、当病院ではより高度な技術を必要とするハイリスク分娩の対応を増やすべく連携を進める。

(6) 環境社会配慮

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2022 年 1 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 横断的事項：特になし。

3) ジェンダー分類：【対象外】 ■GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

<活動内容／分類理由> 調査にて社会・ジェンダー分析がなされたものの、ジェンダー平等や女性のエンパワメントに資する具体的な取組や指標等の設定に至らなかったため。

(7) その他特記事項：特になし。

#### 4. 事業効果

(1) 定量的効果

1) アウトカム（運用・効果指標）

指標名	基準値 (2023 年実績値)	目標値 (2030 年) 【事業完成 3 年後】
手術件数 (件／年)	3,727	5,500
ハイリスク分娩割合 (%／年)	9.6	11.7

(注) ハイリスク分娩：母子の生命や健康に重大な影響を与える危険性のある分娩

2) インパクト

(2) 定性的効果

① 周産期ケアの質向上

産婦人科外来、病棟、分娩室等の施設、機材整備により、周産期ケアの質が向上する。

② 病院内の動線短縮による緊急医療サービス提供の効率化及び患者安全の向上

集中治療部門を含む新小児 ICU 病棟との連結により、動線が短縮され緊急医療サービスの効率化及び患者安全が向上する。

③ 医療人材の育成強化

医療系学生の教育病院である当病院の施設、機材整備により、手術や周産期ケアに関わる医療人材の育成が強化される。

#### 5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件

- ・先方政府による新小児 ICU 病棟の整備が遅滞なく行われる。
- ・先方政府により、整備予定地の既存棟の撤去及び機能移転が 2025 年 3 月までに完了する。

(2) 外部条件

特になし。

## 6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

カンボジア向け無償資金協力「スバイリエン州病院改善計画」（評価年度 2020 年）の事後評価等では、事業の効果を適正に把握するために設定していた定量的効果の指標が、病院が定期的に集計している指標と異なり、収集されたデータでは目標達成度の判断が困難となったとの教訓が述べられている。本事業においても、計画時に実施機関による指標の定義への理解を深め、事業実施中にデータ収集体制が適切に構築されているか定期的に確認する。

## 7. 評価結果

本事業は当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針・分析に合致し、病院施設の新設や機材の整備を通じて当国の保健医療サービスの質の向上に資するものであり、SDGs ゴール 3（健康な生活の確保、万人の福祉の促進）に貢献することから、本事業の実施を支援する必要性は高い。

## 8. 今後の評価計画

（1）今後の評価に用いる指標

4. のとおり。

（2）今後の評価スケジュール

事業完成 3 年後 事後評価

以 上

別添資料 ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画 地図

### ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画 地図



出典：ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画準備調査団作成